

日本共産党の
2議席確保で

みなさんの願い実現に全力で頑張ります

物価高から暮らしを守る

☆ 住民の声に応じてプレミアム商品券を購入しやすい5千円単位とし、希望者全員が購入できるようになりました。

これからも、町民生活の支援に努めます。

● 一人親世帯や高齢者世帯などへの継続的な支援を強めます。

● 米をはじめとして、消費者が安心して買い物ができるように、農産物の自給率向上と価格の安定を国に求めます。



富山米コシヒカリ

行きたい所へ行ける 公共交通を

☆ 長く求めてきた入善駅のエレベーター設置に、町も会社も整備の方針を表明しました。

● 出来るだけ早期の実現を求めています。



入善駅

● 午前中のデマンドタクシーを増やします。



のらんマイ・カー

● 病院とスーパーを回るバスを復活します。

● 隣の市や町に行けるバスを運行します。

入善町の介護事業所を守れ

☆ 町内の介護事業所の経営は大変厳しい状況です。「保険あって介護なし」とならないために支援が必要です。



介護事業所の車

● 高騰しているヘルパーのガソリン代や施設の食材購入費などに緊急支援します。

● 職員確保と離職防止のため、職員の夜勤手当や家賃補助など、町独自の支援を行います。



不公平な下水道使用料の改善を

☆ 入善町の1人世帯の使用料は、5人世帯の一人当たりの2.7倍です。また黒部市の2倍、上市町の1.5倍にもなります。

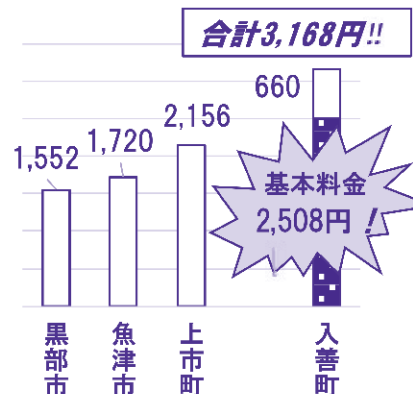
その原因は、月2,508円という高すぎる基本料金を設定しているからです。

● 高い基本料金を廃止し、公平な料金制度に改善します。

● 1人、2人世帯の半数は高齢者世帯です。緊急に高齢者割引を実施します。

高い理由はこれだ！

1人世帯の月額料金の比較



なんで高いがけ



子育て支援の充実を

☆ 学童保育の受け入れ時間が、夏休みなどは朝8時から7時半になりました。



学童保育

● さらに指導員を増やし、夏休みなどは7時から預かれるようにします。

● 子どもと保護者の悩みに答えるスクールカウンセラーを増員し、各学校に配置するよう求めます。

涼しい所で運動したい



● 小中学校の給食を無償にします。

● 猛暑から子どもたちを守り、災害時には避難所として利用するためにも、学校体育館にクーラーを設置します。

防災対策の強化を

☆ 能登半島地震の教訓を踏まえ、日本共産党はトイレトレーラーの導入を提案し、町は導入を決めました。



トイレトレーラー

引き続き防災対策を強めます。

● 町が主導して、津波や河川氾濫など、災害の種類ごとに実践的な避難訓練を実施します。



家族用のテント型間仕切り

● 難所にテント型間仕切りや発電機など、十分な資機材を配備します。



松田としひろ
町議会議員

「食料品が値上がりして、スーパーに行くのが不安」、「免許証を返納しても安心して病院や買い物に行きたい」、「高齢の親が順番待ちで施設に入れない」、「一人暮らしの下水道料金が高すぎる」
このような町民のみなさんの声に応えていくのが町政の役割です。私は暮らしを守り支える町政をめざして精いっぱい頑張ります。

入善民報

2025年9月号外
日本共産党入善町委員会
電話 74-0819

日本共産党と松田としひろ
議員の活動を紹介します。

安心して暮らせる生活環境づくりを

☆ 住宅密集地で空き家が増加しています。

- 早急に実態を調査し、放置空き家の状態に応じた対策を進めます。
- 危険な放置空き家は町の責任で解体します。

- 杉沢の沢スギは、天然記念物にふさわしい管理をするよう、専門家を含めた管理委員会を復活します。

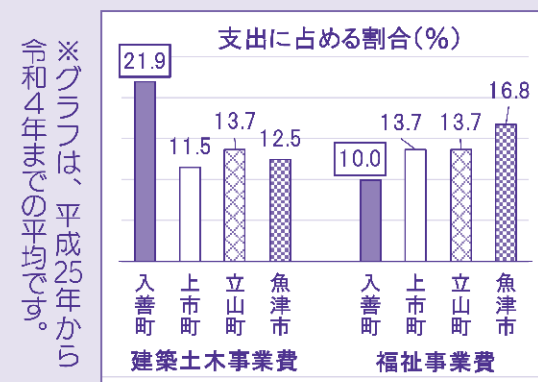
- 黒部川のダム連携排砂は、期間を決めず、大雨のたびに実施し、自然流下の時間を延長するよう求めます。



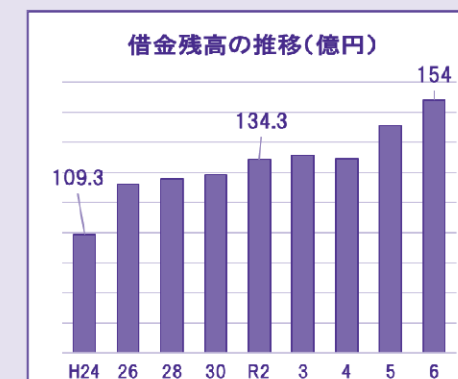
杉沢の沢スギ

大型公共事業優先から住民優先の政治への転換を

入善町は、建築土木費が飛びぬけて大きく、福祉事業費は大変少なくなっています。



大型事業の集中で、借金は10年間で1.4倍になり、毎年の借金返済額は、約2億円も増えています。



日本共産党
2議席の力を合わせて

みなさんの声でここまで前進しました

<高齢者福祉で>

- ・重度聴覚障がい者だけでなく、加齢性難聴の人にも補聴器購入に3万円補助されます。
- ・高齢者が行方不明になったとき、早期発見できるようネットワークができました
- ・65歳以上になると、いったん窓口で払い、後から給付されていた重度障がい者の医療費を窓口無料にしました。
- ・徘徊中の高齢者が事故を起こしたときの損害保険制度に町として加入しました。



松田としひろ
町議会議員



<防災対策で>

- ・高波が堤防を乗り越えてくることがたびたびあり、長年副離岸堤の整備が求められてきましたが、八幡から春日までの3か所に新設されました。
- ・木造住宅の耐震改修費用が多額になることから、補助額の引き上げを求めてきました。今年度から設計・工事費が最大120万円から140万円へ引き上げられました。



副離岸堤



段ボールベッド

- ・以前に台風で複数の避難所が開設された際、緊急物資を運ぶのに手間取ったことから、避難所ごとに配置するよう提案し、現在進められています。
- ・能登半島地震の津波警報で多くの住民が避難所に避難しましたが、開錠が遅かったことで改善が求められました。今年度から暗証番号型の鍵ボックスが各避難所に設置されます。

<生活基盤・環境で>

- ・高齢者や障がい者が利用しづらかった入善駅のトイレの段差を解消しました。

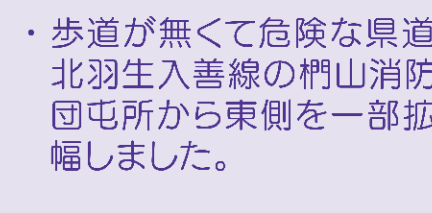


入善駅のトイレ



町道通り場線

- ・老朽化により雨や雪の時に水たまりになっていた入膳17区の町道通り場線の道路と水路を一体で改修しました。



県道北羽生入善線

- ・歩道が無くて危険な県道北羽生入善線の棚山消防団屯所から東側を一部拡幅しました。

これからも、みなさんとともに取組んでいきます

日本共産党入善町委員会 ⇨ <https://jcpnyuzen.jp/>
ホームページはここから
ご家族でご覧ください。

